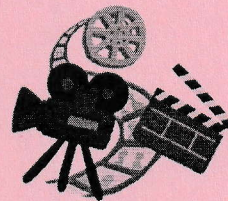


参加は

無料です!



武庫西生涯学習プラザ(ゆうやけプラザ)

# ハートフルシネマ

## 映画「私と部落とハンセン病」

林力 99歳の遺言 『砂の器』を生きた父子の物語

九州で初めて同和教育を始めた林力さん 99歳。そのきっかけは父のハンセン病だった。昭和12年、父は国立ハンセン病療養所に隔離された。差別が厳しかった時代、林さんは父の「隠して生きろ!」の言葉に忠実に生きる。教員となった林さんは被差別部落の子たちと接する中で「水平社宣言」に出会う。「隠して生きる」ことの意味を自ら問い続ける日々…。51歳で『解放を問われつづけて』を出版。祖父の苦悩、自身の苦闘、すべてを一人娘の美知子に伝えたい思いからだった。「無知こそ差別の始まりである」林さんは揺るぎない信念で反差別を貫き通す。林力さんは、今も精力的に講演活動を行っている。

現代に生きる私たちが真剣に向き合わなければならない差別と人権のあり方を考えていきます。ぜひ、ご参加ください。

お問い合わせ・申し込み

武庫地域課まで

電話 06-6431-7884

FAX 06-6431-9542

現実を知って、私たちに  
何ができるか、人権を守  
っていくにはどうすれ  
ばいいか。

みんなで考えましょう。



と き : 2024(令和6)年9月11日(水) 午後1時30分~3時

と ころ : 武庫西生涯学習プラザ(ゆうやけプラザ) 尼崎市武庫の里1丁目13-29

1階 ホール (定員30人) ※どなたでも参加できます

内 容 : ①映 画 『私と部落とハンセン病』

②講 話 尼崎市人権教育指導者 (手話通訳あり)